

## 平成30年度第1回砺波市総合教育会議 概要報告

- 1 開催日時 平成30年8月24日（金）午後4時～5時10分
- 2 開催場所 砺波市役所3階大ホール
- 3 出席者 夏野市長、山本教育長、小櫻教育長職務代理者、齋藤教育委員、林教育委員、信田教育委員、
- 4 出席職員 今井企画総務部長、畑教育委員会事務局長、森田教育委員会事務局次長、坪田企画調整課長、横山こども課長、平木生涯学習・スポーツ課長、小西砺波図書館長、井口企画調整課企画調整係長、中田教育総務課主幹
- 5 傍聴人 5人
- 6 議 事 (1) 幼稚園の統廃合について  
(2) 教育環境の整備について  
(3) 働き方改革について

### 7 会議の概要

#### (1) 開会あいさつ

市 長 今年今回は第1回目の会議で3年目を迎える。この会より認定こども園がスタートした。新体育センターは10月よりオープンとなる。新図書館は31年初めから建築に掛かり、32年度に向けて工事を進めていきたい。市長部局と教育委員会とがより緊密に連携していくために皆さんの話を伺いたいので、よろしくお願ひしたい。

教 育 長 今年度はお盆の5日間学校閉庁を行ったが、特に問題は無かったと聞いて安心している。閉庁期間が昨年より長かったこともあり若い先生方の海外渡航の届出が多く、リフレッシュの1つとして良かった。今年度は猛暑の影響で水温が高くてプールに入れなかったという今までに経験していなかったことが起こった。本日は、色々な課題について意見を述べさせてもらいたい。

#### (2) 幼稚園の統廃合について

教育委員 幼稚園の入園児数は今後増える傾向にないと思うので統合した方がよいと思うが、統合の時期については考えなければいけない。地元の保護者や地域の方の理解が必要であり、説明会ではどのような反応だったのか聞かせてほしい。

事 務 局 中野地区では自治振興会及び常会と保護者会、梅檀野地区では自治振興会と保護者会でそれぞれ説明会を開催した。園児が少ないことで統合について理解を示す肯定的な意見と「聞いていない」、「統合の時期が早すぎる」という否定的な意見や「合併したところの意見を聞きたい」「認定こども園化に向けて進めてほしい」という意見もあった。

教育委員 事務局が何回も説明会をされ意見を聞かれたことに敬意を表す。

「たくさんのおともたちのなかで、もまれてほしいので他の園に入園させた」という意見は納得できた。保護者と地元の意見が違うことがあると思うので、十分配慮してほしい。

教育委員 説明会を聞いた後で、梅檀野幼稚園の園庭が広くて良いという声を聞いたので、このような意見も考慮してほしい。

教育委員 保護者説明会において、1回目と2回目の受け止め方を詳しく教えてほしい。

事務局 中野地区の1回目は「聞いていない」「新聞で初めて聞いた」オール反対だったが、地区全体に話してほしいということで常会単位で説明すると幼稚園の現状をあまり知らないようだった。2回目は統合の時期が早すぎるという意見が多かった。

梅檀野地区の1回目は保護者会で意見をまとめたという話であったが、統合したところのアンケート調査の依頼や中野地区の状況もあり、いずれにしても統合の時期は早いという話も出てきた。

教育委員 子育て会議で名前が上がった太田地区や般若地区には情報は伝わっているのか。

事務局 保護者会長には伝えてあるが、地域全体には話をしていない。

事務局 中野地区は1回目は「聞いていない」だった意見が、2回目では「4歳児が7名いるので卒園させてほしいので、1年延ばしてほしい」という意見があった。中には「スムーズに統合できるように」という意見の一方で、「小さい方が良い」という意見もあった。

梅檀野地区は「聞いていなかった」と言われる中で、以前に統合したところの情報提供や中野地区の状況をお話しながらご意見を伺った。

教育長 聞いていないということは情報を伝えていなかったことになる。今後は、定期的に情報をお知らせすることを考えていかなければならない。望ましい規模が曖昧であり、人数の下限の認識が無かった。望ましい人数を検討していかなければならない。

教育委員 統合することのメリットとして、群れの中で教育や揉まれて育てることができ、もう一つは教員の研修を考えた時に大きなところは効果が高いと思われる。

教育委員 教育長の「保護者の方に定期的に情報をお知らせする」という提案は大切なことだと思った。

市長 子育て会議で決まった提案を地区に説明した際にボタンの掛け違いがあったと思う。知らなかったと言われるが、学校だよりや幼稚園だよりで情報発信はしているが、地区の方は見ていないのでは。人数が少ないから統合するのは本意ではなく、小規模校にずっといるのはどうなのか。それぞれの発達段階で乗り越えていく必要があり、そういうことを経験してもらうことも良いことである。統合時期をどうするかを含めて、教育委員会と相談しながら進めていきたい。

### (3) 教育環境の整備について

- 教育委員 学校のエアコン設置について、各学校一斉に付けたらどうなるのだろうか。学校ICT環境としてタブレット型コンピュータを入れていただいたが、先生方は機械を十分に活かされているのか。各教室にWiFi設備の設置と教職員の研修の充実やこれから英語の教科も加わるので、各学年に1台電子黒板があると使い易いと思っている。
- 教育委員 今まではICTのことばかり言っていたが、エアコン設置も大事だと思った。
- 市長 エアコン設置については、来年度当初予算にはそれなりの補助金が付くと思うが、今年の補正予算の決定があればいいと思っている。設置費用は3億円余り掛かり、1/3の国庫補助だが実際の補助金は7千万円程度だろう。  
学校により工事の大小があり、電気工事技師の不足と価格の高止まりがあると思うが、少しでも早く設置したい。
- 教育委員 来年の夏までに設置が間に合うのか。
- 市長 空き教室のある学校は早いと思うが、夏までに全校終わらせるのは難しい。また、ICTについては、今年は電子黒板の代わりに校務支援ソフトを入れた。
- 教育長 デジタル教科書が増えてくると思うが、対応するだけのものがない状況である。
- 市長 小学校の英語については、中学校の先生が対応できないのか。
- 教育長 各学校にリーダーの先生は1名ずついるが、小学校まで対応はできない。ALTで対応している。

### (4) 働き方改革について

- 教育委員 教員養成系は教職が大変だと噂が広まって中々人が集まらない。1学期からの出退勤の集計結果、校務支援ソフトの活用状況、部活動の活動実態にいて教えてほしい。
- 事務局 出退勤の月80時間を超える割合は小学校で32%、中学校で59%である。校務支援ソフトは2学期から新たに週案簿管理を導入する。部活動のガイドラインは県の方針に基づいて学校の指導計画を作る予定である。
- 教育委員 来年度に部活動指導員を増員する新聞記事があったが、砺波は何人になるのか。
- 事務局 現在2人配置しているが、割合的には4人ほど増えることになる。
- 市長 部活動を休みにすることや、時間を短くすることに反対する声は聞こえてこないのか。
- 事務局 反対の声は聞こえてくる。
- 教育長 新潟では教員の倍率が1.2倍までに落ちており、1倍を切る状況となっている。規定の先生が集められない。

教育委員 広く学校のことを知ってもらうことが大事であり、部活動は活躍すると大きく新聞に取り上げられる。文化と言えただけのことにしていかないといけない。

市長 教育長から言ってくれた今の現状を知らせる努力が必要であると思うが、リタイヤした教員を雇用することはできないのか。

教育長 教員免許が失効してしまい、更新するのに3万円の費用と30時間大学の講義を受けなければならないなど課題は多い。

(5) 閉会あいさつ

市長 現場の話を含めて聞かせていただいた。小学校では涼しいランチルームを利用したりと先生方も工夫をしている。働き方改革については、調査結果をまとめたところであり、県のガイドラインに沿って砺波市独特なものを定めていきたい。今日は、大きく3つの提案があったが、今後とも市長部局と教育委員会とで協力して進めていきたい。

事務局 本日いただいたご意見を新年度予算に反映していけるところはしていきたい。